

10・20メモリアルデー 子どもたちが「命を守る大切さ」を学ぶ

平成16年台風23号の教訓を伝えるため、市内の全ての小中学校や幼稚園、認定こども園などでは10月20日前後に防災・減災授業や訓練を行っています。

市立西保育園では、10月22日、風水害を想定した防災訓練が行われました。また、今年度に国土交通省豊岡河川国道事務所が園児向けに初めて作成した防災教育教材を活用し「水害時の状況」や「雨がもたらす恵み」などを、写真やイラストを見ながら感覚的に学びました。見慣れた場所が水没していたり、ひっくり返った車の写真などが紹介されると、園児たちは興味深く見ていました。「おうちが壊れたら悲しい」「友達が死んじゃったらいやだ」などと話す園児たちに保育士は「家ではお父さんやお母さん、園では先生の言うことを聞いて、自分の命を守るうね」と話していました。



▲防災教材を使い、感覚的に水害の恐ろしさを学ぶ園児たち

《問合せ》防災課 ☎ 23-1111

竹野南地区で

新交通モード実証実験を開始

11月15日から約3カ月間、竹野南地区で新交通モードの実証実験を実施しています。これは、2022年4月からの小学校統合により、地域内を運行する市営バスイナカーの再編等が必要のため、より便利で使いやすい地域公共交通サービスの導入を検討するために行っているものです。

利用日前日までに運行業者に電話予約すれば、当日、運行業者のタクシーが、各区からの要望等により設定した停留所まで迎えに行きます。運行エリアは三原・床瀬・森本間で、70歳以上や障害者手帳をお持ちの方などで事前登録した方は豊岡市街地(病院、スーパーなど)まで直通利用できます。

今後、この実証実験による利用実績などをもとに、運行の可能性を検討します。

《問合せ》都市整備課 ☎ 23-1712



▲イナカーや路線バスと違い、利用者の予約により運行する新交通モード。事前登録なしで豊岡市街地まで直通利用も可能

市政 ニュース

主な市政の動き

〔10月〕

- 16日・植村直己冒険館リニューアルオープン記念事業
- 「エベレスト登頂50周年記念フォーラム」
- 18日・豊岡観光地プレミアム券「とよおか旅クーポン」販売開始(〜12月26日)
- 働きやすい服装での勤務試行開始
- 21日・豊岡継業バンク開設
- 23日・久保修画業50周年記念展覧会「切り絵の散歩

道(〜12月5日)

- 24日・豊岡市議会議員選挙投票開票
- 30日・第6回コウノトリ未来国際かいぎ(〜31日)
- 31日・衆議院議員総選挙投票開票

〔11月〕

- 3日・第72回豊岡市美術展(〜7日)
- 15日・竹野南地区で新交通モード実証実験を開始



※掲載している情報は編集時点(11月15日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

本市が初選出されました

「世界の持続可能な観光地トップ100選」



グリーン・ディステーションズが実施する「世界の持続可能な観光地 トップ100選2021」(以下、トップ100選)に本市が選出されました。世界的なコロナ禍の長期化で生活様式や価値観が変わったことにより、高まることが予測される「持続可能な観光」に取り組む地域への旅行需要への対応と、さらなる持続可能な観光地としての取組みを推進するために応募していました。本年度は、国内では本市のほか11の市・地域が選出されています。

《問合せ》大交流課 ☎21-9069



コウノトリ野生復帰事業は、住民・観光客・絶滅危惧種のよりよい共生を目指して取り組んだ真の成功例として高い評価を受けました

オランダの国際認証団体が審査して選出

トップ100選は、持続可能な観光の国際指標の国際認証団体の一つである、オランダの非営利団体「グリーン・ディステーションズ」が、より良い観光地づくりに努力している地域を2014年から毎年選出しているものです。選出されるには、まず、景観保全や文化財の保護、エネルギー消費量の削減など15の最重要評価項目の基準を満たすことが条件です。基準を満た

持続可能な環境を取り戻すコウノトリ野生復帰の取組みが高く評価

本市は、15の評価項目においては、観光戦略である「大交流ビジョンの策定やその戦略方針」、各種行動計画の策定過程における「市民の計画への参画」、CLEAN and SAFE TOURISMをはじめとした「市を

した地域がさらに地域の優れた取組事例の審査を受け、トップ100選が決定します。

あげての新型コロナウイルス感染症対策」といった項目で特に高い評価を受けました。

また、地域の優れた取組み事例においては、絶滅したコウノトリの野生復帰を契機とした、人とコウノトリの共生を目指したまちづくりの過程での環境保全・地域社会・地域経済の好循環と他地域への広がりについてレポートを提出しました。「本事業は、経済発展と環境保護が相反しないことを示している。住民・観光客・絶滅危惧種のより良い共生を目指して取り組んだ真の成功例である」と、この事例が高く評価されました。

持続可能な観光地として国際的な認知向上と観光客増加を期待

選出された地域はグリーン・ディステーションズのウェブサイトで世界中に広く発信されます。それにより、今後、本市が持続可能な観光地として国際的に認知され、SDGsや持続可能な観光に関心の高い観光客の増加につながることが期待されます。また、今回の選出は「小

さな世界都市」を目指す本市にとって、本市の環境保全・地域社会・地域経済が循環するまちづくりの取組みを「持続可能な観光の国際標準」の観点から誇りをもって促進させることができる契機になります。今後も、市民にとっても来訪者にとっても、よりよい「豊岡」になるように地域の皆さんと一緒に考え、取り組んでいきます。



トップ100選の選出を喜び関貴市長と、優れた取組事例を執筆した大交流課国際交流員のジャド・ヌネスさん

※掲載している情報は編集時点(11月15日)のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。